

SHIRAKOBATO

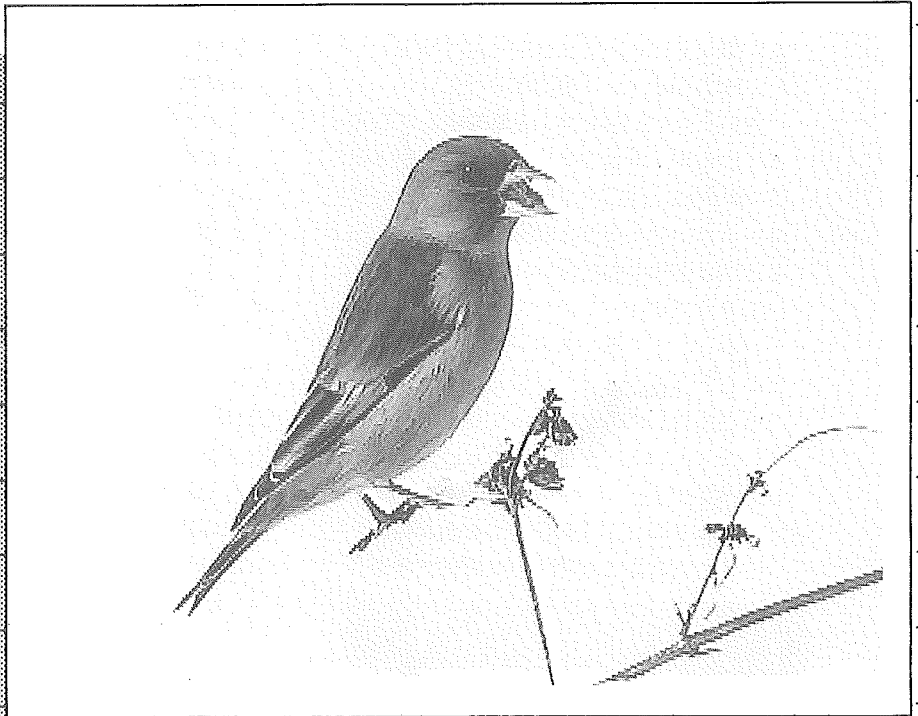
# しらこぼと



1998. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 166

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 雪はいやだ！なんて言っていない

山部直喜（越谷市）

さて2月です。雪の日が多いことが予想されます。そこで今月号は、積雪後のバードウォッチングのお薦めです。それも家から歩いて行ける所がよいでしょう。「えっ、近くにこんな鳥もいたの」「こんなにたくさんいたんだ」など、新しい発見がきっとありますよ。

## 1 雪のあとは鳥が多い

正確には、積雪後は鳥との出会いがいつもより多い、と言った方がよいでしょう。その理由を自分の経験も含めて考えました。

### 1) 理由その1-「雪で丸見え」

雪が鳥を目立たせます。普段なら保護色となっている背景が、真っ白なのですから当たり前です。それに小さな鳥は、猛禽類対策や採餌の都合上からか、積雪後は群れになる傾向がより強いようで、このことも目立つ理由でしょう。さらに水辺などでは、雪の重さで立ち枯れの葦も押し倒され、隠れていた水鳥たちも丸見えです。

### 2) 理由その2-「雪ではらぺこ」

雪が土の上に落ちている餌を隠してしまっています。それでなくとも冬真っ盛りのこの時期は、鳥たちは餌不足で悩んでいます。より小さな鳥ほど深刻な問題で、1～2日間ほど餌が採れないと餓死するものもいるそうです。

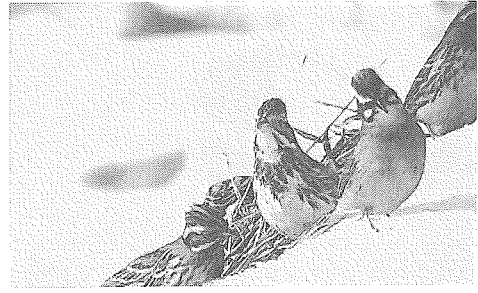
だから、土や藁、あるいは草が顔を出しているところ、つまり、少しでも餌のありそうな所に鳥たちが集まっています（写真1、2）。このことも「雪のあとは鳥が多い」理由です。

### 3) 理由その3-「飛び立つ距離が短い」

このことは全くの個人的な経験ですが、



（写真1）



（写真2）

積雪後は、なぜだか、近付いても普段より飛び立つ距離が短いようです。餌を採る事に夢中で人間などにかまっておれないのかも知れません。結果的にいつもよりじっくり観察でき、「今日はたくさん鳥が見られた」と感じるのかも知れません。

ただ、近づけるからといって、むやみに近づき過ぎないような配慮は当然必要でしょうね。

## 2 実際のフィールドでは

年が明けた1月9日、まとまった雪が降りました。それで私は、1月11日の朝は、その雪が残っている近所の写真3へ出かけました。理由1～3が頭にあったからです。

大正解でした。

この場所だけで、ヒバリ、タヒバリ、ホオジロ、ホオアカ、カワラヒワ、ツグミ、アオジ、カシラダカ、タシギたちが群れになっていたり、採餌していたりしていました。

少し歩き回ると、この場所では初めてのオオタカとトビがカラスにモビングされて出てきました。チョウゲンボウの♂♀の2ペアも確認し、杭の上に、これも当地で初めてのコミズクをじっくり見る事ができました。タゲリ22羽も初めてでした。

また、なぜだか、雪の中の鳥は非常に美し

く見えます。見慣れたキジバトの胸から腹にかけてのハッとするようなピンク色に息をのむ思いでした。

### 3 探鳥会では

1月11日には、支部主宰の探鳥会が4カ所で行われました。そこで、それぞれのリーダーに探鳥会の様子を伺ってみました。いずれもその理由1～3が追認できたようです。



(写真3)

#### 1) 春日部市・内牧公園探鳥会から

「普段隠れていたのが一斉に出てきたという感じです。鳥たちが道案内をしてくれるようでした。セッカはこの時期初めてです。ジョウビタキ、ツグミも近くでよく見られました。シメも次から次へと出て来ました。タゲリ8羽も嬉しかった」

#### 2) 熊谷市・大麻生定例探鳥会から

「雪のない土手に、カシラダカ、ホオジロ、ツグミなどが群れていました。間近に見ることができて、カシラダカなどは、頭地の肌まで見えるほどでしたよ」

#### 3) 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会から

「ベニマシコ、カシラダカ、アオジなど

の小鳥類が、進む道に次々と出て来て、なかなか進めませんでした」

#### 4) 千葉県・船橋海浜公園探鳥会から

「海辺なので雪が鳥に及ぼす影響は少なかったようでした。しかし、雪のため、人が浜に出ておらず、シギやチドリ類はゆっくり見る事ができました」

どうです。鳥見人にとって、雪はいやだ！なんて言われていられないでしょう。私は、積雪後は雪が消えるまで、仕事用の靴の中に双眼鏡を忍ばせています。

2月も雪よ、降り降り。

## 1996/1997冬 「鳥の目から環境を調べよう！」調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部 研究部

1996/1997年（昨年）冬の「鳥の目から環境を調べよう！」調査は、130件の回答をいただき、66種が観察されました（次ページの表1）。調査にご協力くださった会員各位の自宅から半径50m以内の7種の環境におけるそれぞれの上位5種を、次ページの表2に示します。更に、前回の冬と今回の全地区の上位5種を、このページの表3に示します。

ヒヨドリとメジロは、在地繁殖群に越冬群

による追加のため、観察の機会が増えたと考えられます。人工的環境に適応能力の高いムクドリが、1～2階建て住宅地、商業地区、工業地区、主に水田の農業地区で上位を占めています。この調査期間の冬はツグミの飛来数が多かったのか、3位を占めました。

今年冬に続き、次は5月10日から7月10日の間、夏鳥について調査を行いますので、よろしくご申し上げます。（小荷田行男）

表3 埼玉県における全地区の上位5種

調査年	1位	2位	3位	4位	5位
1995/1996冬	ヒヨドリ	スズメ	ムクドリ	キジバト	メジロ
1996/1997冬	ヒヨドリ	スズメ	ツグミ	ムクドリ	メジロ

表1 調査結果一覧

種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	合計	種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	合計
ヒヨドリ	15	90	3	2	7	3		120	シラコバト		2	1		2			5
スズメ	14	83	3	2	7	2		111	エナガ		4					1	5
ツグミ	12	80	2	1	5	1	1	102	キジ		2						4
ムクドリ	12	77	3	2	5	3		102	ユリカモメ		3				1		4
メジロ	12	76	3	2	5	2	1	101	コガモ		3						3
シジュウカラ	14	73	2	2	6	1	1	99	オナガガモ		3						3
キジバト	15	68	1	2	7	1		94	アカハラ		2						3
オナガ	7	58	2	1	6	3		77	シロハラ		3						3
ハクセキレイ	10	57	2	2	4	1		76	ヒガラ		3						3
ジョウビタキ	8	53	1	1	5	1		69	トビ	1	1						2
ハシブトガラス	10	47	2		5	2		66	ノスリ							1	2
ハシボソガラス	7	46	2	1	4			60	チョウゲンボウ		2						2
カワラヒワ	10	41	2	2	2			59	カワセミ		2						2
ウグイス	4	35	1	1	2	1		44	タヒバリ		2						2
モズ	4	28	1		6	1	1	41	ルリビタキ		1					1	2
コゲラ	7	23			3	1	1	35	イカル		2						2
アオジ	3	28	1		2		1	35	ササゴイ		1						1
コサギ	5	23			1	2		31	アオサギ							1	1
カワウ	1	16	1	1	3	2		24	ハシビロガモ		1						1
セグロセキレイ		17			2		1	20	オオタカ		1						1
シメ	4	13	2	1				20	イカルチドリ		1						1
ヤマガラ	5	9			2			16	タゲリ						1		1
カルガモ	2	9			2	1		14	タシギ		1						1
アオゲラ	1	6			3		1	11	セグロカモメ		1						1
キセキレイ		7			1		1	9	アオバト						1		1
ホオジロ	1	4			3			8	フクロウ		1						1
カケス		4			3		1	8	オオアカゲラ								1
アカゲラ		4			2		1	7	ビンズイ		1						1
カシラダカ		6					1	7	ホオアカ		1						1
コジュケイ		4			2			6	オオジュリン		1						1
ドバト		4	1					6	アトリ		1						1
ゴイサギ		4			1			5	マヒワ		1						1
ダイサギ		3			2			5	ウソ		1						1
合計										185	1144	36	23	115	34	15	1552

表2 埼玉県における環境別上位5種(冬鳥)

環境	1位	2位	3位	4位	5位
高層住宅地区	ヒヨドリ	キジバト	スズメ	シジュウカラ	ツグミ メジロ
1~2階建て住宅地	ヒヨドリ	スズメ	ツグミ	ムクドリ	メジロ
商業地区	ヒヨドリ	スズメ	ツグミ	シジュウカラ	ハクセキレイ
	メジロ	ムクドリ	オナガ	ハシブトガラス	ハシボソガラス
			カワラヒワ	シメ	
工業地区	ヒヨドリ	スズメ	メジロ	ムクドリ	シジュウカラ
	キジバト	ハクセキレイ	カワラヒワ		
農業地区(主に畑)	ヒヨドリ	スズメ	キジバト	シジュウカラ	オナガ
				モズ	
農業地区(主に水田)	ヒヨドリ	ムクドリ	オナガ	スズメ	メジロ
				ハシブトガラス	カワラヒワ
				コサギ	カワウ
林業地区	-	-	-	-	-

## 野鳥記録委員会最新情報

### ■コクマルガラス

目科 スズメ目カラス科

学名 *Corvus dauuricus*

英名 Daurian Jackdaw

1997年11月12日(水)越谷市増林の水田地帯で、会員の石川光夫さん(吉川市)が、地上で採餌したり、電線で休んだりしている本種1羽を発見。11月16日(日)海老原美夫がビデオ撮影した。



シベリア南部から中国南東部に分布する本種は、日本にはまれな冬鳥として渡来。主に九州地方で越冬するミヤマガラスの群れの中にあることが多い。

本県初記録。当委員会作成の県内鳥類リスト掲載298番目。

### ■マダラウミスズメ

目科 チドリ目ウミスズメ科

学名 *Brachyramphus marmoratus*

英名 Marbled Murrelet

1997年12月11日付け埼玉新聞によれば、同月4日(木)戸田市道満の荒川第一貯水池、通称「彩湖」で本種1羽を、板橋区在住の本橋弘邦さんが発見して写真撮影。6日(土)までの3日間観察されたとのこと。

新聞写真からも本種であることは確認でき、信頼できる資料での発表でもあることから、委員会としては記録することに決定。

カムチャッカ半島から北日本にかけて分布し、冬はやや南下する本種は、本県初記録。当委員会作成の県内鳥類リスト299番目。

### 日本野鳥の会埼玉県支部 野鳥記録委員会

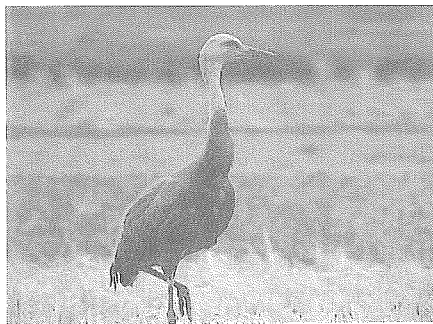
### ■ナベヅル

目科 ツル目ツル科

学名 *Grus monacha*

英名 Hooded Crane

1997年12月末、行田市酒巻の水田地帯に本種の若鳥1羽が滞在しているとの情報を得て榎本秀和幹事、榎本菜摘野さん、榎本秀穂さんと逸見嶮さんが同月29日(月)に確認、1月4日(日)海老原美夫がビデオ撮影した。



環境庁編レッドデータブックでは、絶滅の危険が増大している危急種に指定され、世界中の全個体数の大部分と考えられる約7,000羽が鹿児島県出水市で越冬し、一部が山口県熊毛町にも飛来する。

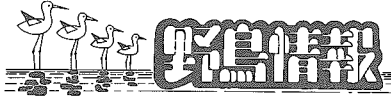
本県初記録。当委員会作成の県内鳥類リスト掲載300番目。

野鳥観察ハンディ図鑑「新・山野の鳥」と「新・水辺の鳥」ようやく発刊!!  
全面的に書き換えられました。

例えば「新・山野の鳥」は、フィールドマナーなどを解説した後、図版は「身近な鳥」から始まります。続いて「森・林とその周辺の鳥」「草地の鳥」……「飛んでいる鳥」と分けられていて、それぞれが更に「スズメ大」「ムクドリ大～ハト大」「カラス大以上」と、大きさでも分けられています。

初めて図鑑を見る人が使いやすいようにとの工夫です。

大きさは前と同じ。税込み各550円。



深谷市仙元山公園 ◇12月5日、ミヤマホオジロ♀1羽、ビンズイ4羽、アカゲラ、シメ、カケス、カシラダカ、アオジ(新井巖)。  
◇12月6日、アカゲラ1羽。コゲラ4~5羽。仙元山は、ヒヨドリとカケスに占領されているような印象だった(後藤康夫・喜久子)。

本庄市利根川 ◇12月5日、坂東大橋下流でカワイイサ♂4羽・♀3羽、タゲリ、ノスリ、オカヨシガモ、ハマシギ(新井巖)。

三郷市江戸川 ◇12月5日、ガスパイプライン橋下流河川敷の野球グラウンドでタゲリ43羽(岩瀬和志)。

大宮市丸ヶ崎 ◇12月6日、16号バイパス沿いの田んぼでタゲリ24羽。クワイ掘りの手伝いをしていたら、すぐ隣の田んぼに降りていた(藤原寛治)。

日高市巾着田 ◇12月7日午前8時頃、クヌギ林の梢付近にイカルが約100羽飛んできて、「キョ、キョ、キョ、キーコー」と賑やかに



あけましておめでとうございます。  
(編集部一同にかわって、トラフズクのご挨拶)

### 野鳥情報をお寄せください

希少種に限らず、その場所では珍しいものやその時期には珍しいもの、あるいは、珍しくはないけれども季節感にあふれた情報、ちょっと変わった行動など、いろいろな情報をお待ちしています。

明らかに間違いと思われる情報は別として、原則としてお寄せいただいた情報をそのまま掲載します。珍しい種類の場合は、できるだけ写真や詳しい観察結果なども一緒にお送りください。

なお野鳥情報は、正確を期するため、葉書、手紙、ファックス等の書面にてお寄せください。

かに鳴いていた。パチパチという音も聞こえたので、硬い実もつばんでいたようだ。他に、シメ、ジョウビタキ、カワセミ、ツグミ、アカゲラ、カシラダカ、コサギ、モズ(本多滋和・幸枝)。

東松山市都幾川 ◇11月15日、イカルチドリ5羽、クサシギ1羽、イソシギ1羽、シメ10羽、ハイツカ1羽、カシラダカ1羽。また、過去に出会ったことのない鳥に遭遇した。姿はヒヨドリに似て、足羽はオナガに似て長い。全体に灰褐色をしていて、くちばしは黒。過眼線は太く黒い、下尾筒は薄い茶褐色または、オレンジ色で3羽いた。  
◇11月22日、イカルチドリ6羽、クサシギ2羽。イカルチドリはほとんど動かず、すぐその横でクサシギがさかんに採餌していた。イカル1羽、シメ2羽、カオグログビチョウ(編集部:かご抜けでしょう)3羽、◇11月30日、カシラダカ1羽、オオジュリン1羽、カワセミ1羽(後藤康夫)。

### 表紙の写真

#### カワラヒワ(アトリ科)

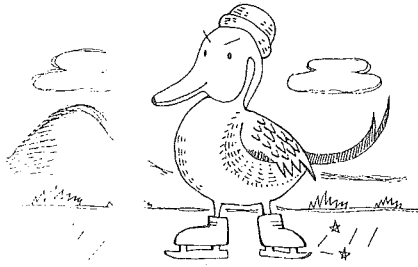
特集記事に合わせたわけではないけれど、大雪の翌日、狭山市の智光山公園に出かけました。人がほとんどいなくて静かでしたが、ついでに野鳥もあまりいませんでした。

探し歩いているうちに、雪の中から草がの

ぞいているところに、ホオジロ類とシジュウカラ、カワラヒワなどが集まっていた、近くの池ではカワセミがダイビングをくりかえしていました。何かいいことがあるものですね。

蟹瀬 武男(浦和市)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月8日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋

見どころ：枯れ野に冷たい風が吹き、冬の厳しさが最も感じられる時季です。鳥を見ながらの耐寒訓練はいかがですか。心身ともに引き締まること請合いです。防寒準備は充分にしてご参加ください。

り西上尾車庫行(畔吉経由)7:07発にて「前原」下車、徒歩約10分

担当：岡安、阿久沢、浅見(健)、永野(安)、永野(京)、浅見(徹)、大坂、高、宇原

見どころ：公園とその周辺に点在する雑木林を巡り、荒川の河川敷にも足を伸ばします。昨年はアトリとイカルの群れが出現しました。それにオオタカを期待しましょう。寒い朝の早起きは、三文の徳まちがいなし。

## 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月11日(水・祝)

集合：午前9時10分 西武線西武球場前駅前  
交通：西武狭山線西所沢8:59発に乗車

担当：長谷部、石井(幸)、小野、中村(祐)、山本、久保田

見どころ：森の中から聞こえてくる物音や地鳴きは？注意してルリビタキやシロハラを探しましょう。湖ではカンムリカイツブリが五分咲きくらいの夏羽かな。堤防の上は特に冷えるので寒さ対策をお忘れなくどうぞ。

## 大宮市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月14日(土)

集合：午前9時 JR宇都宮線土呂駅東口、または午前9時20分市民の森入口前(土呂駅東口より徒歩約5分)

担当：工藤、櫻庭、藤原(寛)、浅見(徹)、森、松永

見どころ：年々開発が進むフィールドですが、芝川のバンやカモたち、アシ原のオオジュリン、斜面林の冬の小鳥たち、たんぼのタヒバリ等は元気に頑張りますよ。励ましにお出かけください。

## 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月11日(水・祝)

集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場  
交通：JR高崎線上尾駅西口4番バス乗り場よ

## 茨城県・菅生沼&浮島探鳥会(要予約)

期日：2月14日(土)

定員に達しましたので締切りました。

## 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月15日(日)

集合：午前9時40分 森林公園南入口前  
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バスに乗車、終点下車  
費用：入園料390円（子供80円）  
担当：内藤、岡安、藤掛、青山、島田、喜多、後藤

見どころ：ここのベストシーズンは2月です。鳥種が最も多く観察されています。それにアフターは、千本近い紅梅白梅の下で持参の花見の弁当を広げませんか。梅祭りの甘酒のサービスもあるはず。

#### 深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：2月15日（日）  
集合：午前9時 JR高崎線深谷駅南口ロータリー  
担当：小池、町田、小淵、小野沢、倉崎、堀、松本  
見どころ：キクイタダキ、ビンズイ、シロハラの越冬地として知られています。それに昨年はミヤマホオジロが久しぶりに出現してくれて賑わいました。

#### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：2月15日（日）  
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ、または午前9時 浦和市立郷土博物館前  
後援：浦和市立郷土博物館  
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼元、森  
見どころ：最近2年間の2月の探鳥会は雪や雨で中止。今年こそ素晴らしい探鳥会になって欲しい。タゲリやカモたちも勢ぞろい。梅の香ただよい、足元には可憐なおオイヌノフグリやホトケノザが咲いている。早春の見沼たんぼへ！

#### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：2月15日（日）  
集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅東口前  
担当：高草木、佐久間、石井（幸）、志村、中村（治）、神場、中村（祐）、荒

木、下川、村上

見どころ：カモ軍団が採餌と集団見合いの真最中。中洲のタシギ、田圃のタゲリが旅立つ前にもう一度会っておこう。カモの仲間を楽しみながら覚えるゲームも用意しています。

#### 群馬県・裏妙義探鳥会

期日：2月21日（土）  
集合：午前9時30分 JR高崎線横川駅前  
交通：JR高崎線（各駅停車）大宮7:12→高崎8:33着、または上越新幹線谷川375号上野7:46→大宮8:08→高崎8:36着にて乗り継ぎ、高崎8:40→横川9:13着  
解散：午後1時ごろ、裏妙義国民宿舎前にて  
担当：松井、中島（康）、小林、櫻庭、新堂  
見どころ：もちろんお目当てはイヌワシ。出るか出ないかはイヌワシ君のご機嫌しだい。雪道を片道5km歩きます。防寒と滑らぬ靴でお出かけください。  
注意：国民宿舎が改修工事中でトイレが使用できません。

#### 岩槻市・岩槻公園周辺探鳥会

期日：2月22日（日）  
集合：午前8時30分 東武野田線東岩槻駅前、または午前9時 岩槻公園特急きぬ号展示場横駐車場  
交通：東武野田線大宮8:12発、または春日部8:21発にて東岩槻下車、徒歩で現地へ  
担当：中村（栄）、中島（康）、吉安、橋口、玉井、入山、松永  
見どころ：初登場の探鳥地第1弾！ 岩槻・槻ノ森の二つの公園とその周辺を歩きます。山野の小鳥、水辺の鳥が楽しめます。どんな鳥たちかは当日のお楽しみとして、多数の参加をお待ちしています。

#### 東松山市・物見山探鳥会

期日：2月22日（日）  
集合：午前9時30分 物見山駐車場（峠を越えた右側）  
交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス



鳩山ニュータウン行き8:56、9:12発にて「大東文化大学前」下車、徒歩約5分（バス進行方向へ峠を越えます）

担当：榎本、岡安、内藤、藤掛、立岩、志村  
見どころ：春のさきがけ探検隊。まだ寒い日があるけれど、自然の営みは春に向けてとくにスタンバイ。野辺を歩く散歩コースで春が幾つ見つかるかな？

### 戸田市・彩湖探鳥会

期日：2月26日（木）

集合：午前9時20分 彩湖グリーンパーク駐車場

交通：京浜東北線南浦和駅西口3番バス乗り場より8:45発下笹目行き（武蔵野線武蔵浦和駅8:53発）にて彩湖道満グリーンパーク下車

担当：櫻庭、松井、中村（栄）、藤掛、志村、高

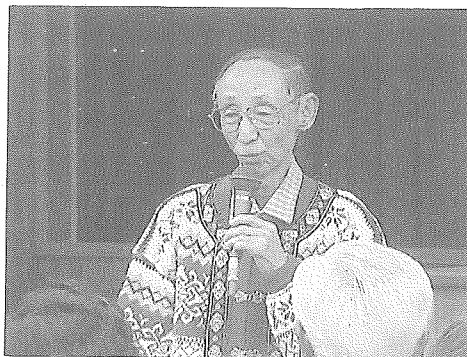
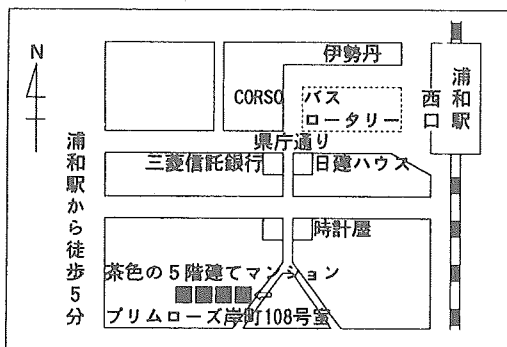
見どころ：初登場の探鳥地第2弾！ しかも平日探鳥会です。県が道満地区に作った大きな調節池が「彩湖」です。池での水鳥、周辺での小鳥、そして空にワシタカをみんなで探しましょう。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月28日（土）午後1時～2時頃

会場：支部事務局108号室

案内：久しぶりに地図でご案内ができました。場所がわからないのでと思っています。封筒に宛名シールを貼って、会報『しらこぼと』を詰める作業ですが、会員と会員を結ぶ大切な仕事です。



年末講演会 蒲谷鶴彦さん

### 茨城県・酒沼いわき海岸探鳥会(要予約)

期日：2月28日（土）～3月1日（日）

定員に達しましたので締切りました。

### 浦和市・秋ヶ瀬公園子供の森探鳥会

期日：3月1日（日）

集合：午前9時15分 浦和駅西口バスロータリー5番バス停付近、集合後9:23発「大久保浄水場」行きバスで「諏訪前橋」下車

担当：海老原、福井、楠見、伊藤、小林、倉林、笠原

見どころ：鴨川の水鳥たちを観察した後、子供の森へ。あまり歩き回らずに、ゆっくりと座り込んで、カラ類、キツツキ類、シメなど、鳥の方からよってくるのを待つことにします。携帯椅子や敷物をご用意ください。

### 寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月1日（日）

集合：午前9時10分 秩父鉄道寄居駅南口

交通：秩父鉄道熊谷8:23発、または東武東上線川越7:55発（小川町乗継ぎ）にて寄居下車

担当：小池、町田、林（滋）、中島（章）、井上、松本、後藤

見どころ：荒川でカワセミとヤマセミ、桜並木でウソ、鉢形城址でルリビタキなど楽しい夢が見られるようにみんなで探しましょう。河原を歩きますので足ごしらははっきりと。

# 行事報告

11月16日(日) 浦和市 三室地区  
参加: 71人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ  
コガモ オナガガモ ハシビロガモ ヒドリガモ  
オオタカ キジ バン イソシギ タシギ ユリ  
カモメ セグロカモメ キジバト カワセミ コ  
ゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ ヒバリ ジョウビタキ ツグミ シジュウ  
カラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ  
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (37種) NHKのふるさとリ  
ポーター長谷川美智子さんが、探鳥会の様子をリ  
ポート。翌朝の放送で、カワセミやアオサギの様  
子が話された。その感激の声を励ましに頑張ろう  
と思う1日だった。(楠見邦博)

11月22~23日(土~日) 新潟県 福島潟 佐潟  
参加: 24人 天気: 22=雨、23=曇

オオミズナギドリ カイツブリ ハジロカイツ  
ブリ カワウ ウミウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ マガン ヒシクイ ハクガン サカツラガン  
オオハクチョウ コハクチョウ マガモ カルガ  
モ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガ  
ガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジ  
ロ ミコアイサ トビ オオタカ ハイタカ ノ  
スリ ハイロチュウヒ チュウヒ ハヤブサ  
チョウゲンボウ キジ オオバン タゲリ ユリ  
カモメ セグロカモメ オオセグロカモメ ウミ  
ネコ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロ  
セキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ イソ  
ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ ホオジロ  
カシラダカ ミヤマホオジロ オオジュリン カ  
ワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス (59種) 第1日目、佐潟は  
雨の中。ミヤマホオジロやハイロチュウヒを見  
られたが、夕方1000羽以上のコハクチョウが沼を  
目指して帰ってくるところが圧巻だった。第2日  
目、福島潟ではオオヒシクイは数百羽、珍鳥のハ  
クガンとサカツラガンが1羽ずつ見られた。参加

者の多くが初めて見る鳥も多く、非常に盛り上  
りを見せた探鳥会だった。(中島康夫)

11月23日(日) 狭山市 入間川  
参加: 27人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ  
ギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハ  
シビロガモ トビ チョウゲンボウ イカルチド  
リ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ  
アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ  
エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワ  
ラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガ  
ラス (34種) 入間川は工事のため鳥が少なく盛り  
上がり欠けるが、カワセミが出るとみんな一時  
的に元気になる。稲荷山公園では、アオゲラとビ  
ンズイがよく見られた。冬鳥たちはみな揃って  
いる頃と思ったが、暖冬のためか種類も数も少な  
めだ。(長谷部謙二)

11月29日(土) 『しらこぼと』袋つめの会  
ホランダニア: 21人

赤塚義正、荒木恒夫、海老原美夫、大坂幸男、尾  
崎甲四郎、佐久間博文、篠原東彦、島田恵司、島  
田沙織里、志村佐治、田中久美子、玉井正晴、中  
村治、藤掛保司、藤野富代、前沢明男、増尾隆、  
松井昭吾、百瀬修、谷津弘子、山口静江

11月30日(日) 本庄市 坂東大橋  
参加: 54人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカ  
ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ミコアイサ  
カワアイサ トビ ノスリ ハヤブサ チョウゲ  
ンボウ ウズラ イカルチドリ タゲリ ハマシ  
ギ ユリカモメ キジバト カワセミ ヒバリ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ  
ヨドリ モズ ツグミ メジロ ホオジロ オオ  
ジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナ

ガ ハシボソガラス ハシブトガラス (41種) 風が強かったが、スカッ晴れ。カモ類もショベラー君のみが外出中で、カワアイサもミコアイサも確認できた。ツグミ、タゲリなどの冬鳥たちやワシ・タカもノスリ、ハヤブサなどを全員でウォッチング。いつもなら「モーニングコール」のチョウゲンボウが新坂東大橋の橋脚で「お疲れ様」のメールを送ってくれ、満足満足。(町田好一郎)

12月7日(日) 北本市 石戸宿

参加: 37人 天気: 曇

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ キジ クイナ バン キジバト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 双眼鏡にとらえた鳥のほとんどがシメとツグミ!! こんな光景は初体験。間近で見られた虫コブをつつくコゲラ、エゴの実を食べるヤマガラ、ムラサキシキブをついばむメジロの姿も印象的。“自然のすばらしい演出”を体感。(岡安征也)

12月7日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 38人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ チョウゲンボウ コジュケイ タゲリ タシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) もどってきた冬鳥たち。鉄塔に止まるチョウゲンボウ。最後に間近で見たカワセミ。曇空で無風。そして冬。「鳥がたくさん見られる」予想どおり次々と鳥が出て、年末のあわただしさを忘れさせてくれた1日だった。(手塚正義)

12月13日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 60人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカ

ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ コジュケイ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) マラソンとクロスカントリーの大会で人が多くて賑やかなうえ、今年の暖冬のため(?)冬鳥の種類、数ともに少なく残念。山田大沼にいたヨシガモとオカヨシガモに救われた感じ。林に雪の様にふんを降らせたカワウの美しいヒスイ色の眼を全員で観賞した。(岡安征也)

12月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 40人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ トビ ハイタカ ノスリ キジバン オオバン イソシギ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (42種) 下見では例年見られる冬鳥が見当たらない。出現鳥の数を心配しながらのスタートだったが、雑木林でアカゲラ、シメ、ハイタカ等が出て、終わってみれば42種。でも、明戸堰のカモ類の数が少なく、何かさびしい今シーズン。(和田康男)

12月17日(水) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 36人 天気: 曇

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 鳥の種類は34種。しかし鳥の数は非常に少ない。冬鳥のカモ類、カシラダカ、アトリ、シメ、アオジ等も少なく感じた。なぜだろうか?(櫻庭 勇)

## 連絡中長

### ●ナベヅル保護の活動

行田市内で越冬中のナベヅルについて、1月4日(日)に和田康男幹事と海老原美夫副支部長が現地調査をしたところ、近くでカモ猟が行われており、発砲音が響く度に、ナベヅルが警戒している様子が見えました。

現地は銃猟禁止区域外であり、適法な手続きをしたハンターであれば、銃猟ができる地域ですが、松井昭吾支部長、中島康夫副支部長と協議の上で、支部として、県庁自然保護課野生生物係と各新聞社に、

1. 誤射しないように注意すること。
2. 法的規制はできないが、付近での発砲を自粛すること。

を呼びかけるように協力を依頼しました。

結果として、県庁からは「関係団体に要請する」との回答を得て、一方では1月12日付け埼玉新聞社会面トップ記事でとり上げられるなどの成果がありました。

引き続き、なにか情報がありましたら、支部事務局にご連絡いただけますように、会員の皆様のご協力をお願いします。

### ●12チャンネルテレビの取材に協力

埼玉県提供で毎週土曜日午前9時から30分間放送されている「さわやか彩の国」という番組で、野鳥をテーマに埼玉の自然を紹介したいとの協力依頼があり、企画段階から協力しました。

松井昭吾支部長が昭和池の野鳥を紹介する場面や、1月11日の大麻生の探鳥会などが収録され、1月31日に放送される予定です。

### ●バードソン1998

昨年に引き続いて「里山の自然と野鳥を守る」をテーマに、今年は5月10日(日)、バードウィーク初日に開催。ルールを分かりやすくして、気軽に募金できるようにします。

当支部では、新チームを結成して参加しよう、橋口長和幹事を中心に、現在準備中です。ご協力をお願いします。

### ●鳥類生息分布全国調査

1978年に野鳥の会が環境庁から委託をうけて、自然環境保全基礎調査-鳥類繁殖分布調査が、全国の会員の手で実施されました。

それから20年がたち、今回は種の多様性調査-鳥類生息分布調査として、同様な調査が実施されることになりました。埼玉県支部も参加準備が始まっています。

### ●関東ブロック協議会を開催

関東9支部の代表の話し合いの場、関東ブロック協議会の今回の担当は当埼玉県支部。2月7日(土)8日(日)の2日間、狭山市内で開催します。

### ●2月の事務局予定

- 1日(日)普及部会議。
- 11日(水・休日)役員会議。
- 14日(土)編集会議、研究部会議。
- 21日(土)校正作業。
- 28日(土)袋づめの会。

### ●会員数は

1月5日現在2,943人です。

## 活動報告

- 12月6日(土)普及部会議。
- 12月13日(土)編集会議、研究部会議。
- 12月15日(月)12チャンネル番組制作ディレクターとの打ち合わせ(海老原)。
- 12月20日(土)21日(日)校正作業(海老原美夫、喜多峻次、喜多彌生、桜庭勇)。
- 12月21日(日)役員会議(司会:橋口長和、評議員会・バードソン・関東ブロック協議会・ホームページ開設・その他)。

## 編集後記

長い間自然に遊んでもらってきたけれど、そろそろ何か恩返ししなきゃいけないかな、なんて考えるようになったのは、年のせいでしょうか? (たまにはまじめなことを書けと編集長に言われましたので……みどり)

『しらこぼと』1998年2月号(第166号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)